

事務事業名	委員会調査研究事業		会計	一般会計	実施区分	継続
H29作成課等名	議会事務局	H29係等名	調査係	H28担当課等名	議会事務局	
基本計画上の位置づけ	政策	9	市民と共に進める行政経営			
	施策	94	効率的、効果的な行財政運営			
目的	対象(誰・何を)	常任委員会、議会運営委員会、特別委員会			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	先進事例の調査を行うことにより委員会審査を深めるとともに、政策提言につなげる。行政評価を行うことにより基本構想基本計画の進行管理			対象指標	10
	向上させたい上位施策の成果指標	協働のまちづくりが進められていると感じている市民の割合				
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	先進事例に基づいた調査研究項目数		16	15	20
	成果指標	行政評価による施策・事務事業への提言項目数		60	56	60
定性目標	・飯田市自治基本条例第22条に規定する「市議会の責務」を果たすため、市民の意思が反映されるようチェック機能を高め、政策立案、提言の充実を図るための活動の一つとして位置づける					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各委員会で所管事務調査として先進地視察や管内の事業の執行状況等の視察調査を行い、当該委員が先進事例や地域課題を把握し共有化することで委員会審査を深めるとも、議会としての政策提言につなげる。</li> <li>行政評価手法を用いて基本構想基本計画の進行管理及び執行部側への提言を行う。</li> </ul>					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	1 委員会等による管外視察			1 (1)常任委員会視察事例数		1 (1)11件
	(1)常任委員会による管外視察(1泊2日 2委員会、2泊3日 1委員会)			1 (2)議会運営委員会視察事例数		1 (2)3件
	(2)議会運営委員会による管外視察			1 (3)特別委員会視察事例数		1 (3)4件
	(3)リニア推進特別委員会による管外視察			1 (4)その他委員会視察事例数		1 (4)8件
	(4)広報広聴委員会、議会改革推進会議による管外視察			2 管内視察件数		2 31件
	2 各常任委員会による管内視察			3 意見交換会等回数		3 10回
	3 関係機関・団体との意見交換等			4 行政評価による提言数		4 61項目
4 行政評価手法による基本構想基本計画の進行管理			5 政策提言数		5 1項目	
5 常任委員会から市長への政策提言			6 政策提案数		6 6項目	
6 常任委員会から所管部署への政策提案			7 条例の制定数		7 1条例	
7 議会提案による条例の制定(政策的条例)						
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		1,828	1,751	1,630	0	
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
一般財源		1,828	1,751	1,630		
人件費計(千円)②		7,867	0	8,404	0	
正規職員所要時間		2,200		2,350		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		9,695	1,751	10,034	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>所管事務調査として先進地や管内視察の調査結果と議会報告会で得た市民の意見等をまとめ、市長への政策提言と所管部署への政策提案を行った。政策的条例「飯田産の地酒及び果実飲料で乾杯する条例」を制定した。また、議決事件である「いいだ未来デザイン2028」の審査にあたり特別委員会を設置し、審査。合わせて議会による行政評価の手法を検討した。</li> </ul>					
改革改善の考え方	①問題点	・29年度は、「いいだ未来デザイン2028」がスタートし、同時に第5次基本構想基本計画の28年度の行政評価を議会として行う過渡期にあたる。				
	②改革提案	・議会が行う行政評価の手法は、基本構想基本計画特別委員会の検討結果を基に行政評価を実施し、実施後の反省や意見を集約して検討し、30年度に行う「いいだ未来デザイン2028」の行政評価の具体的手法につなげていく。				